

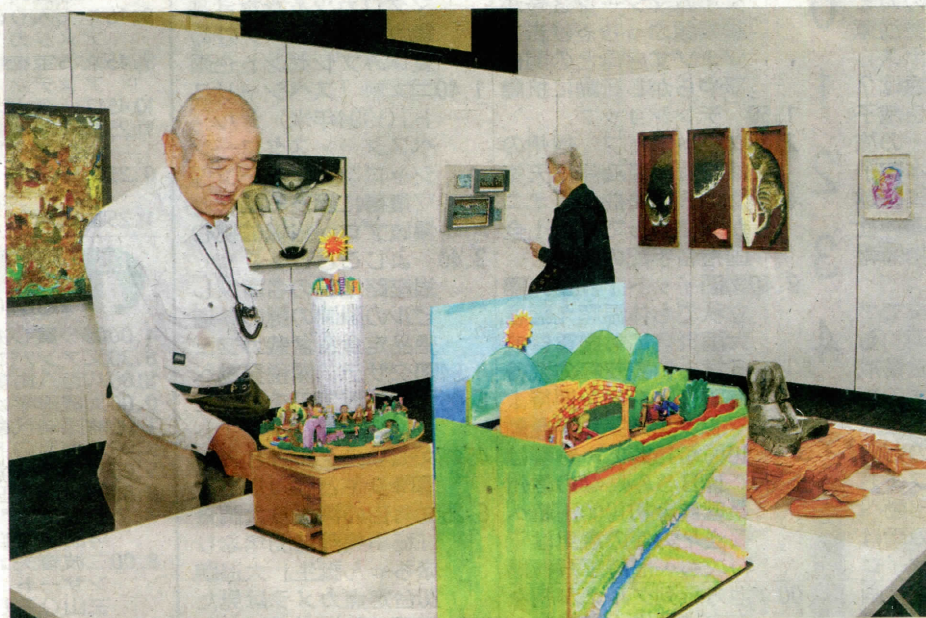
恒久平和を願う作家らの作品展「平和を愛するあなたへ展」(実行委員会主催)が6日、諏訪市駅前交流テラスすわっチャオで始まった。諏訪地方を中心に20、80代の作家や美術愛好者ら46人が絵画、立体作品、写真、書など計73点を出品。反戦の訴えや平和だからこそ感じられる喜びなど、メッセージのこもった表現が並ぶ。

反戦をテーマにした作品は、パレスチナのガザ地区の戦地を思わせる油彩画、アユタヤ王朝滅亡を物語る頭部の無い仏像をモチーフにした立体作品など、繰り返される争いへの恐れが感じられる展示。手回しで動くからくり作品は、オルゴールの音色とともに平和の

反戦や平和の喜び表現

11日まで すわっチャオで「平和を愛するあなたへ展」

報道写真家・石川さん作品も展示



46人が73点を出品した「平和を愛するあなたへ展」＝すわっチャオ

大切さを訴え掛ける。このほか、諏訪市在住の報道写真家石川文洋さんが賛助出品し、「ベトナム戦争終結50年」と題して写真3枚を展示している。

「平和のためにできること」として2013年から始めた。実行委事務局の山崎康子さん(77)＝同市＝は「若いメンバーも加わり、それぞれが新たなジャンルに挑んでいる。こうして展覧会を開けること自体、平和だからこそできること」と話していた。

11日まで。午前10時～午後7時(9日は午後8時30分まで、最終日は同4時まで)。入場無料。7、9日は関連イベントとしてギャラリートークなどを行う。

(丸山智永)